

## 透湿防水さらっとシートR

施工上のポイント/注意事項



各種資料・データはD-Cataをご覧ください

関連情報

製品情報

総合カタログ

P.243

床材

床暖房

壁材・腰壁

天井材・軒天井材

内装ルーバー材

耐震ボード・下地材

防草材

換気・火災警報器

防音建材・音響製品

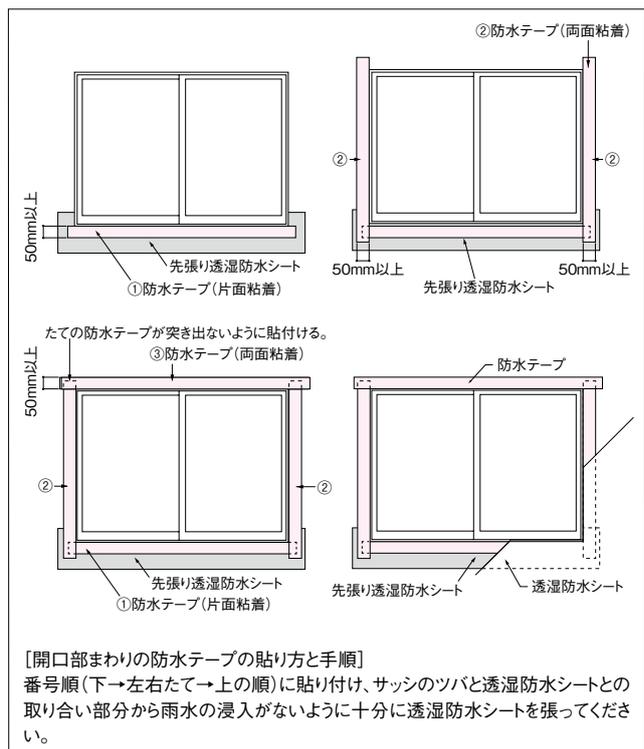
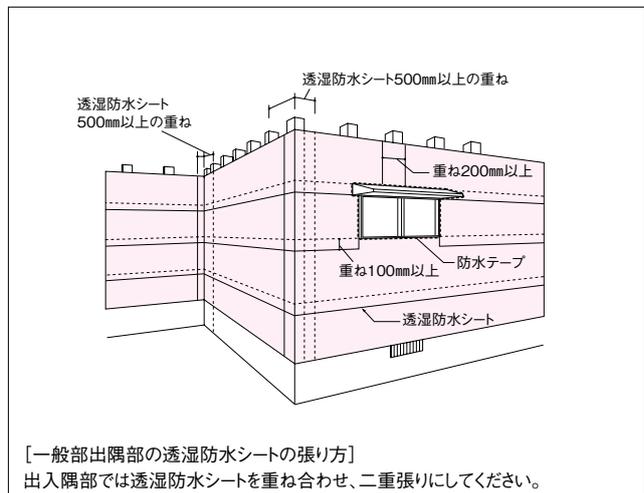
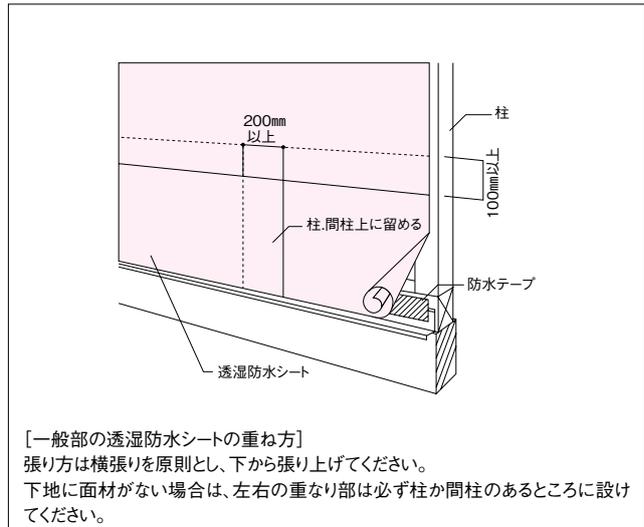
## 設計上の注意事項

防水上有効である「外壁通気構法」を当社では標準構法としています。

## 透湿防水シートの施工

- ① 外壁面からの雨水の浸入は、サイディング本体と透湿防水シートの両方が正しく施工された状態において、初めて防ぎ止めることができるものであり、サイディングの表面に多量の雨水が掛かる条件下では、サイディングの施工精度、風圧その他の条件により、合じり部、シーリング部、釘頭周辺部、開口部まわり、配管まわり等から雨水がサイディングの裏面側に浸入する場合があります。従って壁体内への雨漏りを防止するためには、透湿防水シートと防水テープによる2次防水を完全に行うことが必要となります。
- ② サイディングの横目地部や釘打箇所部分には完全な防水能力はありません。従って透湿防水シートを必ず使用し、万一サイディングの裏面に漏水や結露が生じても、室内側にまでまわらないような充分な配慮を行ってください。
- ③ 張り方は横張りとし、下から張り上げます。上下の重ね代は100mm以上で、縦ジョイント部を上下で同じ位置にしないでください。左右の重ね代は200mm以上で、重なり部は必ず柱か間柱のあるところに設けてください。
- ④ 出隅、入隅等の隅角部は特に防水上の欠陥が生じやすいので、二重張り(両側500mm以上)を行ってください。
- ⑤ 透湿防水シートをタッカー鉋で幅方向に100mm間隔で打ち、弛みや破れのないように張ってください。万一破れた場合は、張り直すか雨水の浸入を防ぐような適切な補修を行ってください。
- ⑥ 開口部まわりや換気口、配管まわり等には十分に防水テープを貼り、透湿防水シートあるいは防水テープをしっかり押さえて透湿防水シートを密着させてください。
- ⑦ バルコニーの笠木部においては透湿防水シートをオーバーラップさせ、シートの重ねのつなぎ目は防水テープでしっかりと固定してください。また外壁との取り合い部は防水テープやシーリング材で十分に防水処理を行ってください。
- ⑧ 水切り部においては透湿防水シートは水切り部材の上にかぶせ、防水テープでしっかりと密着させてください。(水切り部材の立ち上がり寸法の半分以上。ただし透湿防水シートが水切の折り返し部に密着しないようにしてください。)
- ⑨ スノーダクト屋根での小屋裏換気の際等は、透湿防水シートの切断忘れにご注意ください。サイディングの裏面結露の原因となります。
- ⑩ 胴縁の表側(外壁側)に透湿防水シートを張り、サイディングの裏面と透湿防水シートとが接するような施工は行なわないでください。サイディングの裏面の乾燥を阻害し、塗装の劣化(色あせ)や凍害の原因となります。
- ⑪ 強風地域や高基礎の物件におきましては、土台部分からの強風の吹き上げによる透湿防水シートの継目からの雨水の浸入を防ぐために、下から2段目までの透湿防水シートの継目は防水テープでしっかりと継目をふさぐようにしてください。
- ⑫ 縦張り施工の際の中間水切の裏側も風雨の吹き込みが生じやすい箇所です。中間水切を施工する前に、水切のかぶせ部の裏側に捨てコーキング処理を行ない、風雨の吹き込みによる雨漏りを防止してください。
- ⑬ 壁当り軒先部、パラペット・オーバーハング部の防水についてもNYG(日本窯業外装材協会)の標準工法を遵守した施工を行ってください。

- 注意**
- 木材の角や鋭利なもの(カッター、ハンマー・タッカーの角部、カナヅチ等)での傷、酸・アルカリ・溶剤等、薬品の付着により、シートに傷が付く恐れがあります。
  - シートに粘着テープの貼り直しが必要な場合、十分に注意してください。シートのやぶれ、はがれ、剥離等につながる恐れがあります。
  - 防蟻防腐処理した下地が十分乾燥した後施工してください。(※防水性能が劣化する恐れがあります。)
  - 防蟻防腐処理されている胴縁を使用する場合、施工中雨水で濡らさないように注意してください。
  - 壁用断熱材としてウレタン系の吹き付け断熱材(現場発泡系断熱材)を使用する場合、シートに直接吹き付けしないでください。透湿防水シートの性能・品質に影響を及ぼす恐れや、通気層が確保されず、通気を阻害する恐れがあります。
  - 胴縁施工後は速やかに外壁材を施工してください。(※外壁材施工前の漏水については当社では責任を負いかねます。)



# 透湿防水さらっとシートR



関連情報

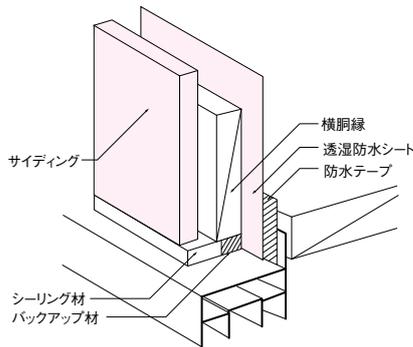
製品情報

総合カタログ

P.243

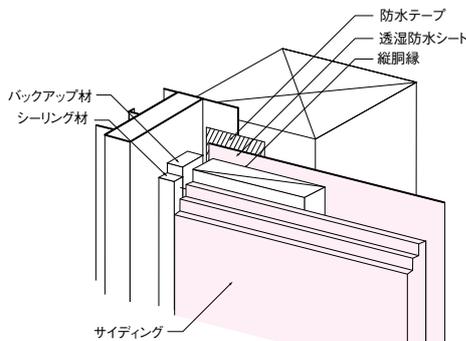
## 施工上のポイント/注意事項

耐震ボード・  
下地材



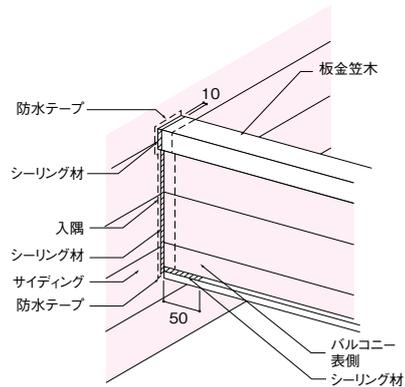
### [開口部上部の透湿防水シートの張り方]

サッシのツバと透湿防水シートは防水テープで密着させてください。  
※横胴縁はサッシの上端に接しないように施工してください。

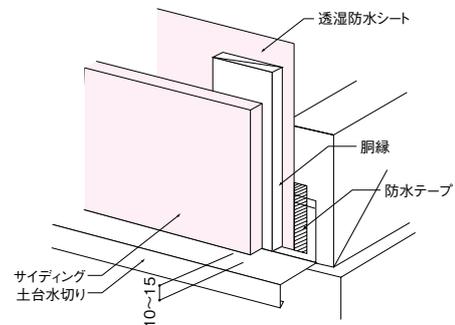


### [開口部側面の透湿防水シートの張り方]

サッシのツバと透湿防水シートは防水テープで密着させてください。  
※縦胴縁はサッシの横端に接しないように施工してください。

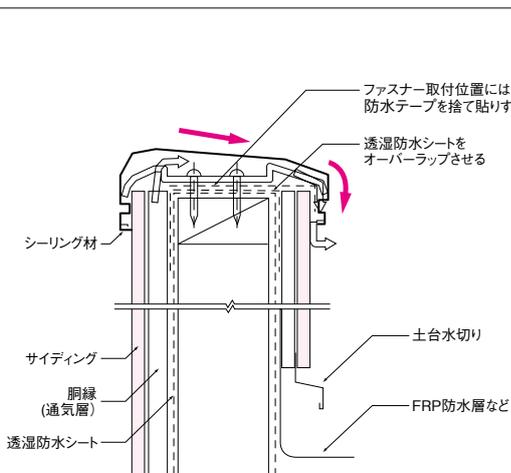


### [外壁とバルコニーの取合い部の防水処理]



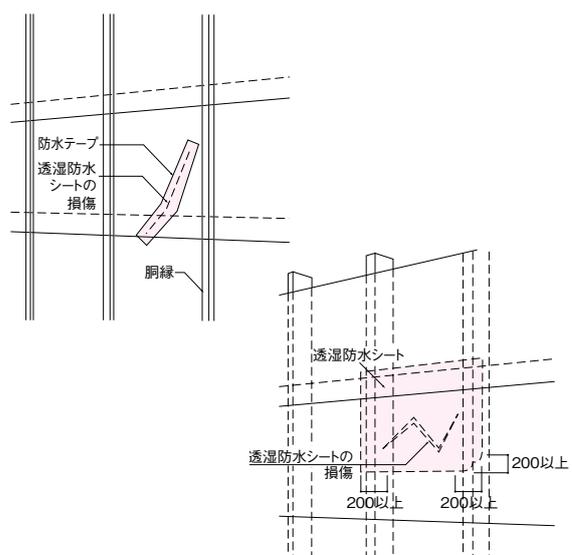
### [土台水切り部の透湿防水シートの重ね方]

土台水切りに透湿防水シートを十分被せてください。(水切り部材の立ち上がり寸法の半分以上。ただし、透湿防水シートは土台水切りの折り返し部分に接しないようにする。)  
※縦胴縁も土台水切りの折り返し部に接しないようにしてください。



### [笠木部の透湿防水シートの重ね方と防水テープ処理]

笠木のファスナー取付ボルトの孔からの漏水を防ぐ為ファスナーと透湿防水シートとの間に防水テープを張ってください。  
笠木排気部ではバルコニー側のサイディングとパラペット天端の透湿防水シートを防水テープで一体にしてください。



### [透湿防水シートの補修方法]

胴縁が取り付けられる前では、破損部分に透湿防水シートをあてがい上部を上段の透湿防水シートの重ね目に挿入して図に示す重なりを確保し、間柱等の下地にタッカー(ステーブル)で留めつけてください。  
胴縁が取り付けられている場合は、防水テープを確実に張りつけてください。下地が面材の場合で破損部から胴縁までの距離が150mm以上ある時は、透湿防水シートで補修することができます。